

令和5年度青森市指定管理者選定評価委員会 会議概要
(「指定管理者候補者選定」に係る審査)

1 開催日時 令和6年1月11日(木) 15:00～16:30

2 開催場所 青森市役所 議会棟4階 第一委員会室

3 対象施設 青森市浅虫海づり公園

4 出席者

(1) 選定評価委員会

委員長 白戸高史(企画部次長)
副委員長 工藤拓実(総務部次長)
委員 池田享誉(青森公立大学准教授)
委員 兼平浩美(東北税理士会青森支部税理士)
委員 泉宏明(環境部次長)
委員 武井秀雄(教育委員会事務局教育次長)

(2) 施設所管課(あおもり産品支援課)

所長 柳谷勝司
主幹 宮川博之

(3) 制度所管課(財政課)

副参事 岩渕寿哉
主幹 宮崎恭次
主査 櫻田博光
主査 滝口貴史

5 案件 「指定管理者候補者選定」に係る審査

6 審査結果

(1) 指定管理者候補者

- ・名称 浅虫温泉観光協会
- ・住所 青森市大字浅虫字蛸谷70
- ・代表者 代表理事 中村 彰利

(2) 指定期間

令和6年4月1日から令和11年3月31日まで(5年間)

(3) 選定理由

- ・応募資格を満たしていること。
- ・「応募団体について」及び「効率性について」を除いた得点（86.99点）が最低基準点（71点）以上を獲得していること。

7 主な質疑内容

（1）A社

①プレゼンテーションのポイント

- ・令和5年夏には、サンセットビーチ浅虫でキッチンカーのデモ営業を行うとともに、令和6年1月には地域と連携して餅つき大会を開催した。
- ・利用者減の傾向を踏まえ、利用者増、地域おこしに取り組んでいきたい。
- ・集客のためのイベントは一時的なものではなく、固定客を確保できるよう努める。
- ・課外学習としての活用についても相談中である。
- ・釣りを通じて、人々が集える場所としていきたい。

②主な質疑

【管理運営方針等】

（委 員） イベントの企画運営を行うスタッフを確保する予定はあるか。

⇒（A社） 当社スタッフが各種イベント企画の経験や運営ノウハウを有している。

（委 員） 事業の性格上、大きな収益を得ることが難しい中で提案した理由は何か。

⇒当社の代表の地元が青森であるつながりから、浅虫地区に工場を構え、これまで地域の皆さんの協力で様々な取組を行ってきたことから、地域に貢献したいと考え応募したものである。

（委 員） 地域との連携した取組にはどのようなものがあるか。

⇒（A社） 先に説明したイベントのほか、まちづくり協議会への参加、地域の建物補修や除雪業務の請負、道の駅等へのキッチンカー出店など浅虫地区の関係者と連携した取組を行っている。

【職員の雇用・労働条件について】

（委 員） 海づり公園の運営スタッフをどのように確保するのか。

⇒（A社） 浅虫温泉観光協会と連携し、今まで海づり公園で働いていたスタッフを継続して雇用することとなっている。

（委 員） 海づり公園が閉園する冬場の雇用はどのようになるのか。

⇒（A社） 当社の他の業務に従事いただくことになる。

（2）B社

①プレゼンテーションのポイント

- ・現在運營業務を行っているが、天候の影響により令和5年は赤字となった。
- ・迷惑客で困っている。
- ・施設の性質上、障がい者雇用は難しい。
- ・集客は、SNSでの周知のほか、「月別大物ランキング」の実施を考えている。

②主な質疑

【管理運営方針等】

(委 員) 必須事業の事業内容が少し淋しいと感じる。仕様書では少なくとも年2回以上のフィッシング大会の開催をすることとしているが、必須事業計画書に記載の月別大物ランキングの公表以外に、何か予定しているものはないのか。

⇒ (B社) フィッシング大会は、やればやるだけ赤字となってしまう。そのため、従前の取組以外でできることを検討した結果、利用者への釣果アピールを行うことで集客に繋げるべく、事業内容を月別大物ランキングの公表とした。

(委 員) 月別大物ランキングの公表は、どのように行うのか。

⇒ (B社) 釣った魚の魚拓の写真を、ホームページ、フェイスブック、インスタグラム等で発信する。

(委 員) 収入が見込まれるのは観光シーズンのみか。

⇒ (B社) 観光客が来る観光シーズンのみオープンであればやっていける。

【職員の雇用・労働条件について】

(委 員) 海づり公園が閉園する冬場の雇用はどのようになるのか。

⇒ (B社) 現在のスタッフは冬場に別の仕事がある。